



施設園芸技術指導士としての抱負

小嶋 篤史 ユニチカ(株) 農業資材グループ

私は2008年に農業用被覆資材「ラブシート」「パスライト」を展開するユニチカ(株)に入社し、不織布の製造現場を経て、現在営業を担当しています。入社した当時は、製造現場にて不織布を生産する日々であり、農業資材の開発・営業を経験し、施設園芸技術指導士を受験するとは思ってもいませんでした。今では、生産者の声を直に聞き、そのニーズを何とか形にできないかと奮闘する毎日です。

私が施設園芸技術指導士を目指すきっかけとなったのは、やはり生産者の声からでした。普段は内張りカーテンの普及推進をしていますが、現場で生産者と話していると、近年の自然災害の大きさや農業を取り巻く環境の変化から、これからは施設園芸栽培の全体を捉えた視点で施設園芸を見ていかなければ、様々な状況に対応できないということを痛感しました。そこで、自分自身に足りない知識や経験を補うためにも、施設園芸技術指導士を受験しようと思い今回、その資格を得ることができました。普段、お世話になっている多くの生産者、最先端で農業を支えている代理店の皆様のおかげと考えています。

農業業界を取り巻く状況は、厳しさを増しています。高齢化・人手不足・自然災害・温暖化など、抱えている問題が数多くあります。ただ一方で、美味しく安全安心という世界に誇る日本の農産物の強みは近年、より一層力強く輝いていると実感しています。日本だからこそ、日本であればこそできる農業

に、持続的発展のカギがあると考えています。個人としては微力ではありますが、施設園芸技術指導士として、これからも継続的に知識・経験を吸収し、日本農業の発展に尽力していきたいと思えます。

最後になりましたが、皆様にご愛顧いただいているラブシートとパスライト。その新商品として、私が不織布の製造・技術開発に携わっているときから開発が続いていた「ラブシート彩光」「パスライト羽衣」を上市することができました。

ラブシート彩光は、従来の「スーパーラブシートFX」をベースに保温性を保ちながら太陽光を80%以上(可視光域)透過する内張りカーテン・サイドカーテン用の不織布です。内張りカーテンとしてはもちろん、その高い蒸散性・通気性を活かしサイドカーテンとして使用することで、作物にとってのハウス内環境を向上させることが可能となりました。

パスライト羽衣は、ご愛顧いただいているパスライトに使用しているポリエステル系複合長繊維を用いて、従来のべたがけ資材では難しかった高い通気性と保温性の両立を、繊維メーカーならではの技術を不織布に応用することで可能とした高通気性べたがけ資材です。寒暖差や、強風によるバタつきから作物を守り、サポートすることができる環境適応型のべたがけ資材として既に展開しています。

施設園芸技術指導士としても、ユニチカというメーカーとしても、今後の農業業界に貢献できるよう全力を尽くして参りますので、これからもよろしく願いいたします。